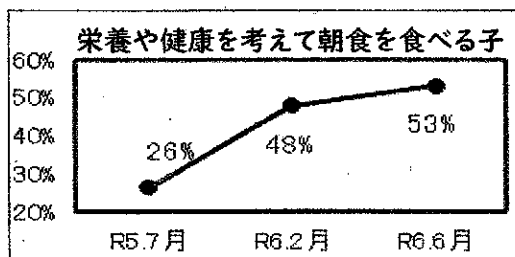
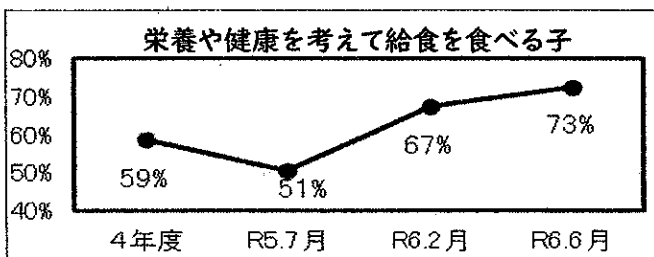


食に関するアンケートへのご協力 ありがとうございます

6月に、「食への意識」や「朝食の状況」「食への関心」などについて、2年生から6年生までの子どもたちと、保護者のみなさまに実施した食生活アンケートの結果を紹介します。

栄養や健康を考えて給食や朝食を食べる子が増えました

栄養や健康を考えて給食を食べると答えた子は、昨年度より22ポイント増えました。



一方、朝食の内容では、主食のみの子が昨年より5ポイント増えて25%でした。朝食で野菜を食べる回数が週に2日以下の子も増えて、59%でした。

子どもたちの健康を考えると野菜は毎食食べることが効果的で、朝食でも食べないとなかなか必要量はとれません。子ども自身でも手軽に準備できるミニトマトや、家庭科でも学習するみそ汁、夕食の残りなどを活用して、野菜やおかずを食べる日を増やしてみませんか。



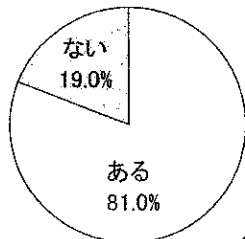
ベジまるも
たべてね!

食を通して子どもに身に付けてほしい力で、最も多かった内容は「好き嫌いせず食べる」ことで、昨年度の4位からランクアップしました。次いで「感謝の心」、「バランスよく食べる」「健康な体作り」「食事マナー」の順でした。

保護者回答

食を通して

身に付けてほしい力はありますか



食に関して困っていることや知りたいことでは、「どうすれば苦手な物を食べてくれるか」など「偏食」に関わるものが最も多く、そのほかに「食べる時間」や「食べる量」、「早食い」などがありました。これらについては、今後の中部小学校における食育に生かしていきたいと思っております。また、給食を食べる時間については、ゆとりをもてるよう進めていきます。